

授業科目 臨床心理学

【担当教員名】 伊東 正裕	対象学年	1・2	対象学科	義肢（2年生）・視機（1年生）・社会（1年生）
	開講時期	後期	必修選択	必修（義肢・視機）選択（社会）
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	◎

【概要・一般目標：GI0】
 対象者の心理を理解し、適切に援助するために、臨床心理学の概要を把握し、対人援助者としての自己理解を深める。また保健・医療・福祉領域における臨床心理学の意義を理解する。

【学習目標・行動目標：SB0】

1. 臨床心理学の定義・対象や、援助のプロセスについて説明し、その知見を活用しようとしてすることができる。
2. 事例を通して臨床心理学的援助の実際のイメージを把握し、説明できる。
3. 主な発達・人格理論や心理アセスメントの方法について説明できる。
4. 主な心理療法の理論や方法・適用について説明できる。
5. 対人援助者としての自己の心理的特徴を振り返り、簡潔に述べるることができる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション：臨床心理学とは何か	1	講義
2	臨床心理学的援助の対象とプロセス	1	講義
3	心理援助の実際：事例に学ぶ（1）自閉症、精神遅滞など	2	講義
4	心理援助の実際：事例に学ぶ（2）不登校、情緒障害	2	講義
5	心理援助の実際：事例に学ぶ（3）神経症、虐待など	2	講義
6	心理援助の基礎：発達・人格理論を学ぶ（1）フロイト・ユング	3	講義
7	心理援助の基礎：発達・人格理論を学ぶ（2）ロジャース	3	講義
8	心理援助の基礎：発達・人格理論を学ぶ（3）エリクソン	3	講義
9	対象の理解：心理アセスメントを学ぶ（1）発達・知能検査	3	講義・ビデオ
10	対象の理解：心理アセスメントを学ぶ（2）人格検査	3、5	講義・実習
11	心理援助の方法：心理療法を学ぶ（1）心理療法の原理、援助の方法	4	講義
12	心理援助の方法：心理療法を学ぶ（2）精神分析療法	4	講義
13	心理援助の方法：心理療法を学ぶ（3）来談者中心療法	4	講義・ビデオ
14	心理援助の方法：心理療法を学ぶ（4）認知行動療法他	4、5	講義・実習
15	まとめ：会うこと・寄り添うこと	1～5	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	心とかかわる臨床心理（第2版）	川瀬正裕 他	ナカニシヤ出版	2012・2,200円
参考書	これからの心理援助	川瀬正裕 他	ナカニシヤ出版	2001・2,400円
その他の資料	毎回プリントを配布する。			

【評価方法】 出席状況 レポート提出状況（授業内容の理解と、自分 なりの考えを問う。） 以上を、総合的に評価する。	【履修上の留意点】 どの専門領域においても対人援助の基礎となる重要な科目なので、積極的な態度で 受講すること。
---	---